

1月19日（月）全校朝の会「一人一人活躍」

「命の大切さ 防災」

全校朝の会で、「一人一人活躍」「命の大切さ 防災」という話がありました。（学校長の話一部抜粋）

みなさんおはようございます。寒い日が続いていますね。風邪をひかないように手洗いうがいをしっかりしましょう。さて進んで挨拶。しっかり聞く。進んで一人ひとりが活躍頑張っていますか？

今日は進んで一人ひとりが活躍している様子をお話ししたいと思います。

まず1月9日に行われた特技披露大会のお話です。22組のお友達が進んで自分がしたいという特技を披露してくれました。どのお友達も精一杯自分ができることを全校のみんなの前でしてくれたことをとても誇らしく思います。後で感想を聞いたら、ぜひ来年は出てみたいという人がたくさんいました。そしてみんなで温かい心で、応援しながら見られたこともとても素晴らしかったです。来年も楽しみにしています。

次に毎日いろんなことをコツコツと取り組んでくれているお話です。スリッパを並べたり寒くてもお掃除を一生懸命たりしている姿がたくさん見られました。冷たい水に手をつけて雑巾がけをしている様子など本当に一生懸命取り組んでいる様子は素晴らしいと思いました。大切な学校をきれいにするという気持ちがとても大事だと思います。これからもお掃除、それから気がついたことには進んで取り組める當麻小学校のみんなできてほしいなと思います。

また、10月に5年生が取り組んでくれ、11月に放送されたラジオ番組がなんと3回目の再放送になり、1月11日に放送されました。ラジオ聞いてくださった方やたくさんの方から反響があり、もう一度聞きたいというお声が上がって再放送になったそうです。こんな事は珍しいとラジオ番組と一緒に作ってくださった湯浅様もおっしゃってくださっていました。大変素晴らしいことだなと校長先生も嬉しく思っています。

さらに、1月14日水曜日に6年生を中心として、當麻の未来のまちづくりの発表会がありました。葛城市長阿古様、教育長椿本様、地域や保護者の方もたくさんお見えになりました。先日のわくわく発表会でも、當麻の魅力や課題から自分たちの未来のまちづくりについて考えたことをマインクラフトで表現してくれていました。今回は実際に6年生が作った建物や施設が体育館の床の上に立体となってデジタルで見ることができました。みんなが考えたことを東京から来られたタツナミシュウイチ先生も褒めてくださいました。

そして、5年生も参加しました。5年生のみなさんもたくさん感想を言って

くれていましたね。この取り組みは當麻小学校創立150周年記念事業の1つです。みなさんが昨年アンケートで最新のテクノロジーを体験してみたいという思いから、地域のみなさんが考えてくださって実現しました。當麻の地域の力、子供たちを応援したいという思い、それによって実現したものです。来年度も引き続き行っていきますので、楽しみにしておいてください。

さて、1月17日は、校長先生が防災訓練の中でお話ししたように、阪神淡路大震災が起こって、ちょうど31年目でした。みなさんもテレビや新聞などでいろいろなことを知ったと思います。31年前に神戸・大阪にとっても大きな地震が起き、6434人もの方々がお亡くなりになりました。特に神戸市は大きな被害があり、高速道路が倒れたり家が潰れたり大変なことが起こりました。地震によってたくさんのものをなくされたみなさんは本当に辛い日々を送られました。その中で小学校の音楽の先生だった臼井先生が避難所で歌を作られ、そして子どもたちと一緒に歌うということをされました。この歌は打ちひしがれた人々の心に勇気や感動をもたらし、今は神戸の市の歌として歌いつがれています。そしてこの歌は、地震が起こり、大変な被害にあった東日本大震災の人々や能登の方、そして世界でも歌い継がれています。ぜひいろんな方の思いが込められているこの歌を聞いて、命の大切さや人々との絆、そして命を守るということについて、これからもしっかりと考えてほしいと思います。これで校長先生のお話を終わります。

